

様式4

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立境港総合技術高等学校

学校長 新 田 真 也

評 価 日	令和5年7月25日（金）
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ・概ね適切な設定 ・専門的資格取得の促進と魅力ある学科づくりでは、例年生徒が積極的に資格取得に取り組み、結果を出している。継続してほしい。 2 評価項目と目標達成のための取組について ・地域の専門高校として各事業を有効に活用し、地域の人材育成、活性化に貢献して欲しい。 ・すべての科が連携して取り組める事業をするなど、学科間の連携もお願いしたい。 3 具体目標について ・インターンシップや出前授業は、生徒の経験値や専門性の向上に欠かすことのできない取組である。今後も継続して欲しい。 ・地域と連携した取り組みが重要。例えば福祉施設での実習、ボランティア等の体験により自己肯定感を高めてほしい。 4 目標達成のための具体方策について ・生徒募集に関して、学校の取り組みが伝わるような、情報発信を。 5 その他 ・各科で外部人材を活用してほしい。 ・地域と生徒の接点について、県外では生徒と大人が話せる場を設定しているところもある。検討してほしい。 ・食品関係では、栄養系の対応も考えられる。 ・生徒募集について、県外からの生徒のための宿舍整備はできないか。 ・実習製品の県外での販売について	1 基本的な生活習慣をしっかり身につけながら、学力向上、キャリア教育の推進、地域との連携を図り、専門人材育成に向けた取組の充実を図りたい。 2 科連携や地域との連携を充実させ、自信と誇りを持って地域に貢献できる人材の育成を図る。また、新たな取り組みとしてスマート教育に力を入れたい。学科間連携としてキッチンカーの導入を考えている。 3 さまざまな体験的活動を通して、専門性の育成、人間性の育成を図りたい。ボランティアについては、福祉科以外でも可能。保護者の同意で参加可能。 4 報道関係への情報提供や公式SNSへの掲載などタイムリーな情報発信により一層努める。 5 いただいた提言について、今年度の学校運営の参考にさせていただきたい。